

平成29年度 第3回アーバンデザインセンターびわこ・くさつ (UDCBK) 事業運営懇話会



1

地域を知る
互いを知る

未来の
イメージ
共有

新たな
活動の創出

平成30年2月13日

UDCBK



全体の流れ

(報告) 平成29年度事業について

3

(報告) 法人化の検討状況について

23

(協議) 来年度事業について

33

今年度事業のテーマ

健 幸 都 市

交 通

琵琶湖

文 化

各種オープンデータの利活用

オープンスペース利用の4タイプ

	イベント利用		フリー利用	
	タイプ1	タイプ2	タイプ3	タイプ4
利用主体	UDCBK	・市他部署 ・市関連団体 ・包括協定締結大学 ・企業等民間団体	各種団体	個人
日時・場所	日時・場所等の確保（予約）可能		日時・場所の確保（予約）不可	
使用条件	-	・イベントの内容がUDCBKの理念に合致していること ・オープン ・無料	・オープン ・無料	-
広報	・市HP,UDCBKのFacebookに掲載	・各団体が個別に告知 ・UDCBKとしても告知	・各団体が集合場所として告知は可	-
使用例	・アーバンデザインスクール ・未来創造セミナー等	・市の事業 ・市関連団体の事業 ・包括協定締結大学関連事業（詳細後述） ・企業のまちづくり関連事業	・市の事業であってもUDCBKの理念に合致していないイベントの場合はタイプ3 ・まちづくり関連団体の会合や作業	・個人学習 ・休憩

UDCBK事業（タイプ1）

名称	機能	内容	回（件）数
アーバンデザイン スクール	学 習	UDCBKの運営を担う媒介の専門家・地域の専門家の育成を目的に必要な知識等の取得を行う	5回 (2期) 10回
未来創造セミナー	交 流 学 習	多様な人々の交流を目的に草津の歴史や草津に住む人々のライフストーリー等を語ってもらう場	10～16回
UDCBK社会実験 事前調査事業	社会実験	産学公民連携により、草津の未来のイメージを具現化するアイデアを纏め、調査研究や社会実験等に接続 「草津市社会実験推進事業」を改称 「学習・交流」「調査研究」を経て、提案された案から社会実験をデザインするために必要な調査事業。新たな制度や技術を社会に導入した場合の影響評価や社会実験をデザインするための小規模実験等を行う。	6件
やさしい にほんご さろん	交 流	まちづくりに外国にルーツを持つ人々の知見を活かすため、UDCBKで行うイベント等に外国にルーツを持つ人々も気軽に参加できるよう、やさしい日本語で交流する場を提供する。	毎週火曜日 10時から正午 第3金曜日 18時から20時

平成29年度アーバンデザインスクール（前期）

- ・ 将来UDCBKの運営の担い手となる「媒介の専門家」「地域の専門家」の育成を目的とする。
- ・ 4回の講演のあと、第5回にワークショップを実施した。
- ・ 全回のコーディネーターは塩見康博氏（立命館大学理工学部准教授）

	1	2	3	4	5
開催日時	6月28日（水） 18:30～20:00	7月12日（水） 18:30～20:00	8月25日（金） 18:30～20:00	9月2日（土） 10:30～12:00	10月14日（土） 10:30～12:15
テーマ	未来の交通を考えるために 知っておきたいこと	欧州諸都市の経験に学ぶ “誰もが安全に歩いて暮 らせるまちづくり” (人中心のまちづくり)	まちなかの渋滞や 交通事故のリスク を減らすまちづくり (気まぐれな私的交通 を調整する)	誰もが自由に快適に移 動できるまちづくり (あらためて公共交通を 考える)	ワークショップ 草津の未来の交通を考える
会場	市民交流プラザ中会議室		UDCBK新拠点		
話題提供者	塚口博司氏 立命館大学理工学部 特任教授	岡井有佳氏 立命館大学 理工学部准教授	小川圭一氏 立命館大学 理工学部教授	近藤宏一氏 立命館大学 経営学部教授	塩見康博氏 立命館大学 理工学部准教授
参加者数	35	23	14	20	12

※ 3回以上参加した方には、修了証書を贈呈しました。（13人）

平成29年度アーバンデザインスクール（後期）

- ・将来UDCBKの運営の担い手となる「媒介の専門家」「地域の専門家」の育成を目的とする。
- ・「都市の風景のつくりかた」 5回シリーズで実施。
- ・全回のコーディネーターは武田史朗氏（立命館大学理工学部教授・UDCBK副センター長）

	1	2	3	4	5
開催日時	11月11日（土） 15:00～16:30	12月16日（土） 15:00～16:30	1月6日（土） 15:00～16:30	2月17日（土） 15:00～16:30	3月17日（土） 15:00～16:30
テーマ	建築家と ランドスケープ	つかいこなしながら生み 出す「公園」と「ま ち」のつくりかた	タクティカル・ アーバニズムが変 える都市の風景	まちを変える市民の アーバンピクニック	都市デザインの チカラ
話題提供者	松永安光氏 （建築家） （株式会社近代建築研究所所長／ 一般社団法人HEAD研究会理事長）	忽那裕樹氏 （ランドスケープアーキテクト） （株式会社E-DESIGNパートナー／ 特定非営利法人パブリックスタイル研究所理事 長／OSOTOweb）編集長）	泉山壘威氏 （都市経営・エリアマネジメント・ パブリックスペースマネジメント） （東京大学先端科学技術研究セン ター助教／ソトノバ編集長／ UDCOアーバンデザインセンター大 宮ディレクター）	村上豪英氏 （東遊園地パークマネジメント社会実験 事務局長） （株式会社村上工務店／ 神戸モトマチ大学） 福岡孝則氏 （ランドスケープアーキテクト） （東京農業大学准教授／ FD Landscape主宰）	小野寺康氏 （都市設計家） （（有）小野寺康都市設 計事務所 取締役代表）
参加者数	19	29	30		

平成29年度未来創造セミナー

- ・学習・交流を目的に実施
- ・この場から、異なる考えを知り、さらに各自が考えを深め、次のテーマを見つけ出すことを支援

	1	2	3	4	5
開催日時	6月9日（金） 18:30～19:30	8月5日（土） 10:30～12:00	8月26日（土） 14:00～15:30	9月15日（金） 18:30～20:00	10月18日（水） 18:30～20:00
テーマ	「新しく生まれ変わる UDCBK」	市民も変わる、 行政も変わる!! オープンガバナンス	草津ってどんな感じ？ ～目印、遊び場、気にな る場所～	予測不能な時代の未来 のまちづくりを考える	みんなでつくる 「まちライブラリー」
講演者等	及川センター長 武田副センター長	奥村裕一氏 東京大学公共政策 大学院客員教授	山口純氏 （一社）エスコーラ 理事	小林傳司氏 大阪大学理事・ 副学長	磯井純充氏 まちライブラリー 提唱者
参加者数	23	16	34	23	20
備考	平成29年8月1日に西 友南草津店1階に移転 するUDCBKのコンセ プトなどの説明	オープンガバナンスの 説明と草津市も参加し た「チャレンジ!!オー プンガバナンス （COG)2016」の報 告とCOG2017の説明	参加者が描いたくさつ のまちのイメージを参 考にした草津の魅力な どの分析	政策に新たな科学技術 や科学的知見をとり入 れる際の政策形成プロ セスへの市民参加の必 要性と欧州の合意形成 手法の紹介	本を通じて市民の交流 を深める手法について 学び、UDCBKの本 棚の活用可能性につい て考える。

平成29年度未来創造セミナー

- ・学習・交流を目的に実施
- ・この場から、異なる考えを知り、さらに各自が考えを深め、次のテーマを見つけ出すことを支援

	6	7	8	9	10
開催日時	12月8日（金） 18:30～20:00	1月6日（土） 10:30～12:00	1月20日（土） 14:00～15:30	2月3日（土） 14:00～15:30	2月24日（土） 14:00～15:30
テーマ	「感じて、ふれて、ベトナム！」フェスタができるまで ～外国からの人々と野路町の人々のハートフルなものがたり～	草津に生まれ育ち、そして草津を離れて気づいたこと ～All For One すべては草津の未来のために～	シリーズ 地域で語り継がれる港の物語り ～湖上交通が盛んだったころの記憶・思い出～		
講演者等	ディン・ティ・ドン・フーンさん	山元圭太さん (草津市下笠町出身/株式会社PubliCo代表取締役COO)	常盤に語り継がれる港の話 (常盤の民話集より)	「急がば回れ！」の語源の地 「矢橋の渡し」への思い	大津と山田を結ぶ定期船の思い出
参加者数	25	44	24	29	
備考	野路町と外国人留学生の交流事例の紹介 今後ますます外国人が増えることが予想されるため、今後のまちづくりの参考に	草津市出身でまちづくりの仕事をしている山元氏からのアドバイス。	読者グループ松葉会のみなさん 辻浦岩水さん（「湖帆の郷」を語る会） 草津市立草津宿街道交流館学芸員による解説		
			草津宿街道交流館との連携事業 草津が湖上交通の要衝であった頃を知ることにより、未来の選択肢を増やす。 地域で語り継がれる港の話を地元の方にお話いただいたあと、草津宿街道交流館の学芸員が地域の湖上交通史の解説を行う。		

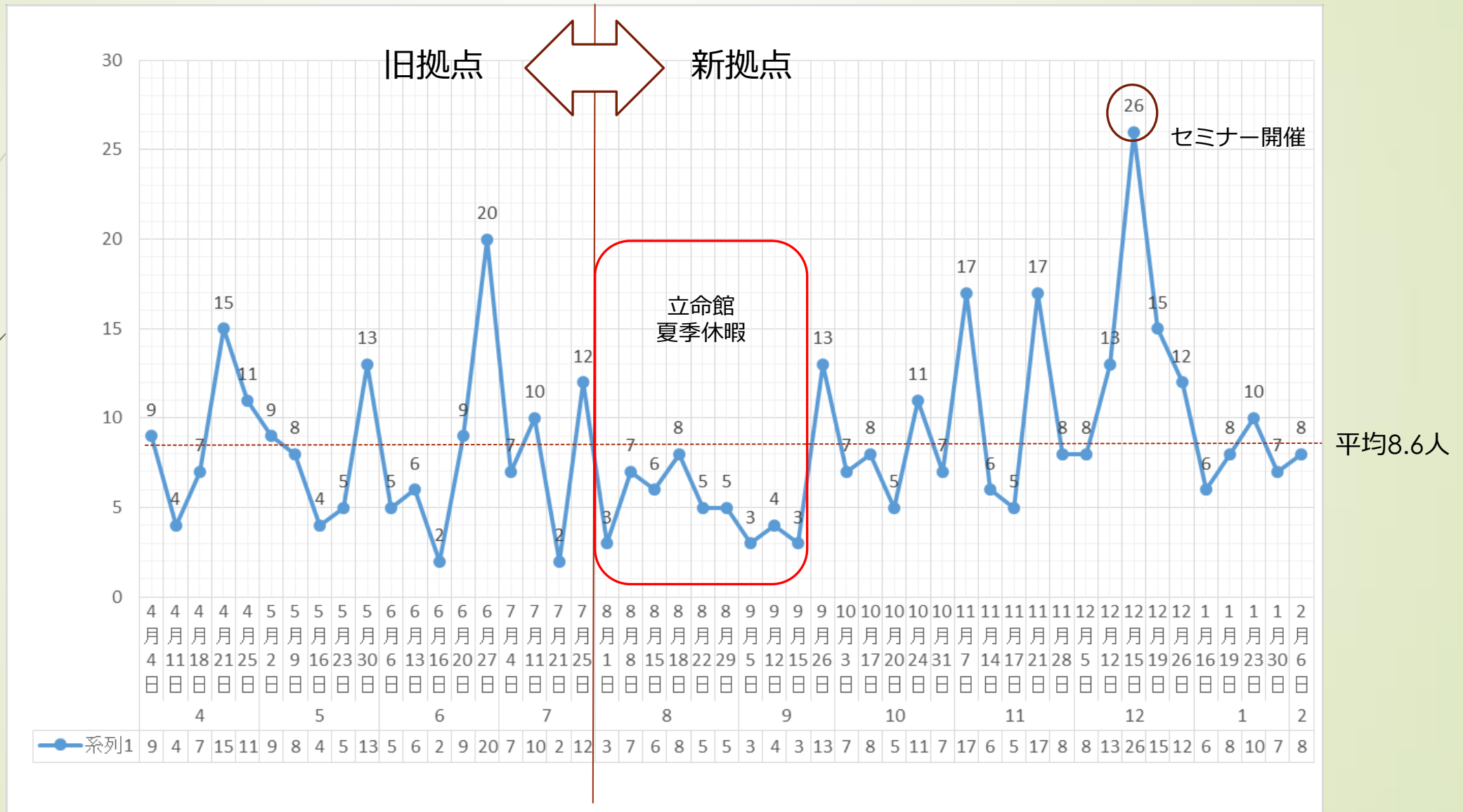
未来創造セミナー各回のテーマ別分類

テーマ \ 回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
プラットフォーム 運営	○	○		○	○	○	○			
UDCBK空間 の活用	○				○					
地域を知る 互いを知る		○	○		○	○	○	○	○	○
未来のイメージ 共有						○	○	○	○	○

やさしい にほんご さろん

- 毎週火曜日の10時から12時までと第3金曜日の18時から20時まで、外国にルーツを持つ人々の地域の人々がやさしい日本語で交流する場を提供する。
- KIFA、オリーブ、シッパス等市内外で活動する外国人支援団体の会員を中心に、立命館大学等の留学生や市内外在住の外国籍の方が参加
- 延べ419人（平均8.6人／日）の参加で、外国にルーツを持つ方と日本人の割合は同じ（平成30年2月6日現在）
- 毎月1回の金曜日について試行的にテーマを設定してセミナーを開催
 - 12月15日（金） 18時半から20時 「介護の現場で活躍する外国人」 24名
- 開催日以外でも日本人と外国にルーツを持つ人と交流する場面や外国にルーツを持つ人の利用が増えつつある。

(参考) 平成29年度「やさしい にほんご さろん」参加者数推移



平成29年度連携事業（タイプ2）

	1	2	3	4	5
開催日時	4月26日（水） 10:00～12:00	6月18日（日） 10:00～12:00	8月4日（金） 13:30～15:00	9月9日（土） 10:00～12:00	9月16日（土） 11:00～12:00
テーマ	ミナクサ☆カフェ	「南草津の未来を デザインする」 ～デザイン・ビジネス、建 築・空間、 暮らし・からだ～	市民も変わる、 行政も変わる!! オープンガバナンス	UDCBKで成安造形大学 の授業を体験しよう！	立命館大学生と SDGsを考える
講演者等	-	佐藤典司氏 （立命館大学経営学部教授） 及川清昭氏 （UDCBKセンター長） 原健太氏 （立命館大学研究部BKCRリ サーチオフィス）	奥村裕一氏 東京大学公共政策 大学院客員教授	三宅正浩氏 成安造形大学特任准教授	立命館大学 Sustainable Week 実行委員会
参加者数	41	51	26	21 （学生14、市民7）	47
備考	新しく開設する子育て支 援拠点施設の機能に関す るワークショップの企画 運営に協力	今後南草津のまちづくりの 活性化と商工業の発展を検 討する上でのヒントと協働 （または提携）できる可能 性の取組みを紹介する。	オープンガバナンスとオー プンガバナンス時代におけ る行政職員のあり方につい て （市職員研修としてアミカ ホール研修室で実施）	成安造形大学の授業「草津 アーバンデザインプロジェ クト」の一環としてアート イベント企画の公開授業	SDGsの17の目標の説明と、 10月1日から6日まで立命館 大学(BKC)にて実施された Sustainable Weekの概要説 明
連携先	草津市役所 子ども家庭部 子ども子育て推進課	草津市商店街連盟 立命館大学	草津市役所 総務部職員課	包括協定締結大学 （成安造形大学）	包括協定提携大学 （立命館大学）

平成29年度連携事業（タイプ2）

	6	7	8	9	10
開催日時	9月30日（水） 10:00～12:00	10月3日（火）～ 11月10日（金）	10月11日（水） 14:00～16:00	10月14日（土）	10月17日（火） 12:00～13:00
テーマ	Walkin' About	ゆるキャラグランプリ （たび丸応援）	セレンディピティ TIME in UDCBK	選挙啓発街頭活動	ぼうさいミーティング
講演者等	-	-	まちづくり協働課 （くさつ☆パール プロジェクト）	-	危機管理課 （防災おにぎり委員会）
参加者数	-	-	33	-	24
備考	草津駅から南草津駅までの 旧東海道を自由に散策 し、感想などを共有	ゆるキャラグランプリ2017 のたび丸投票PR	第1部： 草津の未来を語ろう☆ワール ドカフェ 第2部： まちづくりの達人☆プチ トーク	選挙啓発街頭活動のPRの場 として協力	「海を越えた防災」と題し て活動報告
連携先	大阪ガス	草津市役所 総合政策部広報課	草津市役所 まちづくり協働部 まちづくり協働課	草津市役所 選挙管理委員会	草津市役所 総合政策部 危機管理課

平成29年度連携事業（タイプ2）

	11	12	13	14	15
開催日時	10月18日（水）	11月18日（金） 17:00～18:30	12月1日（金） 11:30～ 12月15日（金） 17:00	12月5日（火） ～ 12月9日（土）	12月14日（木） 12:00～13:00
テーマ	選挙啓発街頭活動	DESIGN TALK SESSION 2017 「建築と土木の間」	JR南草津駅 階段デザイン市民投票	人権週間パネル展示	ぼうさいミーティング
講演者等	-	武井誠氏 （株式会社TNA 代表取締役）	-	-	土田正雄氏 （防災管理士）
参加者数	-	23	-	-	24
備考	選挙啓発街頭活動のPR の場として協力	SDP；2014年に開設され た建築実務に特化した大 学院プログラム	J R南草津駅東口および 西口にあるエスカレー ターと並列している階段 の利用を促すデザイン候 補作品の市民投票の 企画実施	人権週間のパネル展示で ユニバーサルデザインに ついて展示	液状化現象について学習 した成果をお話いただき、 意見交換
連携先	草津市役所 選挙管理委員会	包括協定提携大学 （立命館大学）	草津市役所 健康福祉部 保険年金課 （健康福祉政策課）	草津市役所 総合政策部人権センター	草津市役所 総合政策部危機管理課

平成29年度連携事業（タイプ2）

	16	17	18	19	20
開催日時	12月15日（金） 18:30～20:00	12月16日（土） 10:15～12:00	12月16日（土） 13:00～14:00	1月13日（土） 14:00～17:00	1月17日（土） 13:00～17:00
テーマ	介護の現場で活躍する 外国人	農業プロジェクト （レコラ畑） 報告会	JR南草津駅 階段デザイン公開コンペ	第1回 ボードゲーム交流会	ぼうさいミーティング
講演者等	川崎アルマさん キンニョーネス・パイリン・メンチさん 松村バイピーリンさん	立命館大学 サービスラーニング センター	服部紗英子さん （滋賀県立大学） 上田護さん （立命館大学）	SOIL & SOUL	金度源 衣笠総合研究機構 歴史都市防災研究所
参加者数	24	32	20	31	22
備考	「やさしい にほんご さろん」の特別企画として オリーブと共催で実施	環びわコンソーシアムの 助成事業の報告会	J R南草津駅東口および 西口にあるエスカレー ターと並列している階段 の利用を促すデザイン公 開コンペの企画・運営を 担当	「まちづくり」をテーマ にしたボードゲーム開発 を目指した交流会	「まちづくり」をテーマ にしたボードゲーム開発 を目指した交流会
連携先	オリーブ （文化庁事業）	包括協定提携大学 （立命館大学）	草津市役所 健康福祉部 保険年金課 （健康福祉政策課）	包括協定提携大学 （立命館大学）	草津市役所 総合政策部危機管理課

平成29年度連携事業（タイプ2）

	21	22	23	24	25
開催日時	2月10日（土） 13:00～17:00	2月14日（水） 11:30 ～ 2月23日（金） 17:00	2月28日（水） 11:30 ～ 3月22日（木） 18:45	3月10日（土） 10:30～	
テーマ	第2回 ボードゲーム交流会	帰帆島公園を敷地に した 作品展示	人権作品展示	キッズシネマ塾 完成試写会（仮） + ワークショップ	
講演者 等	SOIL & SOUL	立命館大学大学院 理工学研究科	—	中島貞夫監督他 （NPO法人京都映画 倶楽部）	
参加者 数	(35)	—	—		
備考	「まちづくり」を テーマにしたボード ゲーム開発を目指し た交流会	大学院理工学研究科 環境都市デザインス タジオで学生政策の 作品展示		後半のワークショッ プをUDCBKが運営	
連携先	包括協定提携大学 （立命館大学）	包括協定提携大学 （立命館大学）	草津市 総合政策部 人権センター	草津市 教育委員会事務局 生涯学習課	

平成29年度社会実験事前調査事業（タイプ2）

	1	2	3	4	5
開催日時	10月4日（水） 18:30～20:00	10月7日（土） 11:00～12:30	10月7日（土） 14:00～15:30	11月10日（金） 18:30～20:00	11月11日（土） 10:30～12:00
大学名	立命館大学	立命館大学	立命館大学	立命館大学	成安造形大学
テーマ	私たちのSDGs －滋賀のミライを描く－	私たちのSDGs －滋賀のミライを描く－	私たちのSDGs －滋賀のミライを描く－	Let's Talk About the Future with SDGs	ヨシを使ったアート作品 制作ワークショップ
備考	SDGsの17の目標の任意の一つをテーマにサイコロオブジェを作成			SDGsの目標のうち、日本になじみの薄いテーマを外国人とディスカッション	作品はみなくさ祭り当日とお祭り終了後1週間UDCBKでも展示

平成29年度社会実験事前調査事業（タイプ2）

	6	7	8	9	10
開催日時	12月9日（土） 10:30～12:30	1月20日（土） 10:30～12:30	1月27日（土） 10:30～12:30	2月3日（土） 10:30～12:30	2月24日（土） 10:30～12:30
大学名	京都橘大学				
テーマ	産後早期の子育てに向けた家族教室				
備考	・ 子どもの発達と 親の役割 ・ 産後の体と 心の変化	・ 新生児の特性 ・ 育児疑似体験		・ 育児生活の工夫 ・ 健康のためのセルフケア	

タイプ3による活用事例

- 草津市総合政策部男女共同参画課、草津市まちづくり協働部まちづくり協働課、建設部公園緑地課などが打ち合わせやイベントで利用
- 市民団体（観光ボランティアガイド、自然散策サークルなど）が10名程度の打ち合わせで利用
- 市民団体と学生団体の共同の勉強会利用

視察

- 福井県坂井市三国町三国二の部区
 - 平成29年12月8日（金） 14時から16時 15名
 - 平成30年4月より古民家を改修したアーバンデザインセンター坂井を開設予定
 - 開室前に運営主体となる町内会の方が視察
- 神戸大学（システム情報学研究科／学術産業イノベーション創造本部）
 - 平成30年1月23日（火） 10時15分から11時45分 8名
 - 神戸市・神戸大学を中心としたアーバンデザインセンターの開設準備中
 - 建築系ではなく、情報系中心のアーバンデザインセンターとなる予定

その他連携事業

- 資料映像の提供
 - JR草津線PR映像（企画調整課）
 - キッズシネマ塾作品（生涯学習課）
 - 水生植物公園みずの森PR資料（公園緑地課）
 - 景観百選画像データ（都市計画課）
 - 草津市都市計画制度わかりやすくし隊スライドショー（都市計画課）
 - 「ひとつになる」（草津に美しい文化芸術を育む会）

全体の流れ

(報告) 平成29年度事業について

3

(報告) 法人化の検討状況について

23

(協議) 来年度事業について

33

法人化検討ワーキング部会の開催

◆第1回 平成29年12月14日(木)

＜内容＞（事務局より提示）

- UDCBKの設立背景・目的
- UDCBKが目指す組織（案）
- 会社以外の法人組織形態
- 組織形態の比較（任意団体、一般社団法人、一般財団法人、NPO法人）
- 法人化によるメリット・デメリット（リスク）
- 他のUDCの組織形態（参考）

⇒UDCBKの設立趣旨から今後の目指す姿を共有し、それを達成するための手段として法人化を検討。その上でのメリット・デメリット（リスク）を抽出し、委員の皆さまに議論いただいた。

＜確認事項＞

事務局提示内容を受けて、委員の皆さまからの確認事項等が以下のとおりであった。

- ①UDCBKは法的にどのような位置づけになっているのか。
- ②UDCBKを法人化した場合、設立に係る費用を市から出資することは可能か。
- ③UDCBKを法人化した場合、その法人がUDCBKを使用して運営するにあたって市に行政財産使用許可を得る必要があるのか。
- ④UDCBKを法人化した場合、市の職員は出向となるのか、あるいは派遣という扱いになるのか。人件費の支払い方法はどのようなになるのか。
- ⑤資金の流れ、職員の雇用形態について他のUDCにヒアリングを行い整理する。
- ⑥他のUDCではどのような補助金を取り込んでいるのか。

- ⑦UDCBKを法人化したと仮定して、市からUDCBKへ業務を委託した場合、その業務委託の業務実施に市民等を交えることは可能かどうか。（市民等とのワークショップを開催して、そこで出た内容を業務委託成果として盛り込む）また、市からの委託業務を市からの出向（派遣）職員が行うことは法的に可能かどうか。
- ⑧他のUDCから定款をもらう。
- ⑨環びわこ大学・地域コンソーシアムおよびびわ湖ホールが法人化した際の行政（県）の手続きについて確認する。
- ⑩組織形態について、総括的に違いが分かるように資料作成する。

法人化検討ワーキング部会の開催

◆第2回 平成30年2月6日（火）

＜内容＞（事務局より提示）

- ・第1回法人化検討ワーキング部会での確認事項等の共有

⇒確認内容を踏まえて、今後の方向性のまとめを行った。

草津市としての関わり方の可能性については以下のとおり。

※今後、大学や企業についての関わり方の検討が必要になる。

項目／組織	草津市
資金面	・ 設立時：出資可能 ・ 運営費：出資可能（運営委託費、負担金等）
人材面	派遣可能 （ただし、関係規則の改正が必要になり、「出向」ではなく、「派遣」という形態に限定される。）
法人化移行期間	現在検討中

<参考>

項目／組織	UDCK (一社／任意団体)	UDCO (一社)	環びわ (一社)
資金面	・ 設立時：三井不動産(株) ・ 運営費：柏市	・ 設立時：UDCO設立準備委託業務に含む ・ 運営費：さいたま市	・ 設立時：滋賀県・大学 ・ 運営費：会費
人材面	・ 柏市まちづくり公社：3名 ・ 市職員：1名 ・ 三井不動産雇用：2名 ・ 法人直接：2名	・ 法人直接雇用：4名	・ 法人直接雇用
法人化移行期間	—	約3年	約1年

法人化検討ワーキング部会の総括

実施団体	市	任意団体	一般社団法人	一般財団法人	NPO法人
メリット	安定財源がある	- 事業の自由度が高い - 法的手続きが不要	- 意思決定が早い - 助成金や補助金を取り込むことができる - 法務局への登記のみで設立が可能 - 企業の冠講座等の実施が可能 - 専門家の常駐が可能 - 設立時の財産が不要	- 意思決定が早い - 助成金や補助金を取り込むことができる - 法務局への登記のみで設立が可能 - 企業の冠講座等の実施が可能 - 専門家の常駐が可能	- 意思決定が早い - 助成金や補助金を取り込むことができる - 法務局への登記のみで設立が可能 - 企業の冠講座等の実施が可能 - 専門家の常駐が可能
デメリット (リスク)	- 意思決定に時間がかかる - 予算制約が大きい - 議会承認が必要 - 市の上位計画との整合性が必要 - 企業の冠講座等の実施が不可能	- プロジェクトベースでの事業展開となり、自転車操業 - 市から職員が派遣できない - 補助金を取り込むことができない	- 継続的な人材確保 - 継続的な運営資金の調達が課題	- 継続的な人材確保 - 継続的な運営資金の調達が課題 - 設立時に300万円の財産が必要	- 継続的な人材確保 - 継続的な運営資金の調達が課題 - 設立時に構成員が10人以上必要 - 構成員の入会制限が不可能

法人化に係る項目別比較表

実施団体	市	任意団体	一般社団法人	一般財団法人	NPO法人
設立費用	—	有利	有利	不利	有利
設立検討期間	—	有利	不利	不利	不利
資金（予算）確保	どちらとも言えない	不利	有利	有利	有利
人材確保	どちらとも言えない	どちらとも言えない	有利	有利	有利
意思決定	不利	有利	有利	有利	どちらとも言えない
事業スピード	不利	有利	有利	有利	どちらとも言えない
収益事業	不利	有利	有利	有利	どちらとも言えない
社会的信用	有利	不利	有利	有利	有利

◆まとめ

現時点で想定される課題点（決定必要事項）は以下のとおり。

■ 法人化する場合の構成員の決定

⇒どの組織が構成員となるのか、人数、役割等の決定。

■ 法人設立にかかる費用の分担

⇒負担割合（法的には市が資金・人材を提供することは可能。）

■ 法人設立後の費用の分担

⇒負担割合の決定。

■ テナント賃貸借契約の協議

⇒法人と合同会社西友で契約をする必要があり、その際の市の負担を決定する必要がある。

■ 構成団体からの職員派遣による諸規定等の制定

⇒人員体制、就業規則の制定、人件費の拠出方法、業務内容の決定等

■ 定款の作成

etc.

◆まとめ

組織形態毎のメリット・デメリット（リスク）を勘案し、現時点で想定される課題点（決定必要事項）をクリアしていき、平成30年度中に法人化の是非の決定を行う。

●今後のスケジュール（予定）

平成30年度

法人化検討ワーキング部会を4回開催。

その中で今までの議論内容の整理および議論の深化を行う。

→法人化の是非についての意見をまとめ、運営懇話会へ提示。

⇒運営懇話会にてさらに議論を重ねて、法人化の是非についての意見を事務局（市）へ提示。

全体の流れ

(報告) 平成29年度事業について

3

(報告) 法人化の検討状況について

23

(協議) 来年度事業について

33

(協議) 来年度事業について

タイプ1 関連

- ▶ 平成29年度に引き続き、「健幸都市」をテーマに、3つのキーワード（「自然」、「情報」、「文化」）を設定し、セミナー等を実施
- ▶ SDGsをテーマにしたセミナー等の実施
- ▶ UDCBKの空間を利用した常設サービスの検討
- ▶ 都市空間デザインを考えるツールの検討

タイプ2 関連

- ▶ 包括協定締結大学による利用の促進
- ▶ 企業等とのコラボレーション